

こころに残る景観資源発掘委員会の概要

①こころに残る景観資源発掘委員会の開催状況及び主な議事内容

開催日		主な議事内容
第1回	2021/11/18	<p>(応募作品選考時の主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝日や夕日など季節や時間が伴う作品は現地でイメージする必要がある。 近景であったり、一部を切り取った風景であったりするのは眺望としては選外とする。 過去に別テーマで指定している場所や被写体でもそのテーマにおける視点の違いを評価する。 岸和田城と久米田池については眺望景観としての新たな視点が加わっているかどうか評価する。 <p>→各委員 10 件に投票し、1 票以上が入った作品 (23 件) から、現地の動画を確認し 15 件を一次選考通過とする。</p>
第2回	2021/12/8 (現地調査)	<p>→現地調査 (15 件 (委員選定箇所 15 件+周辺箇所)) の実施</p> <p>(現地調査時の主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 眺望という観点から、もっと視界に広がりがあるものもあった。 写真を見て想像するよりも、現地で見ると迫力があり、応募者の想いを感じ取ることができた。 海側には岸和田の歴史や産業があり、山側では昔ながらの景色が確認できて良かった。 写真の撮り方や、時間帯、季節においても見え方が変わる。
第3回	2021/12/15	<p>→各委員 8 件に投票し、1 票以上入った作品 (12 件) から推薦候補の選出</p> <p>(推薦候補作品の審査時の主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回は視界が開けたものを対象とする (誰もが「眺望」と思えるもの)。 過去に指定されたものと異なる新たな視点となっているか (重複していないか)。 タイトルの変更が必要なものもあるが、応募者へは了承を得ている。 <p>→推薦候補として、9 件を選出し、講評案及び総評案を作成。</p>

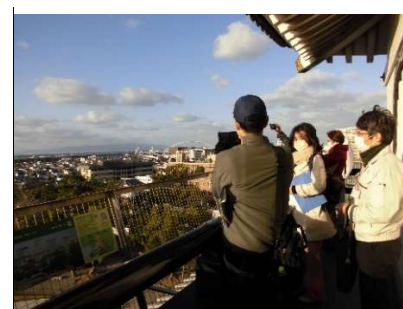
②こころに残る景観資源発掘委員会 現地調査の様子



内畑町



神於山



岸和田城